

フランス菓子伝統のプチガトウ デイナータイムコンサートで 優雅なひとときを

メーテルリンク

フランス菓子メーテルリンク（横浜市西区岡野、新倉博光社長、045・314・0139）はJR横浜駅西口から徒歩6分、岡野交差点近くにあるフランス菓子店である。新倉社長の祖父が102年前に創業した和菓子店がはじまりで、3代目である現社長がフランスのパティシエの下で修業を積み、昭和49年にフランス菓子店として再スタートした。平成17年にはリヨンの有名洋菓子店ガブリエル・パイアソンと姉妹店となるなど、横浜で約40年にわたり有名なフランス菓子専門店としての地位を築いている。

同店では、プチガトウと呼ばれ、フランス料理のデザートとして食べるように考えられた菓子を製造・販売している。フランス菓子伝統のスタイルを大切に守る同店のこだわりは、洋菓子店では一般的なショートケーキ類を製造していないことからよく分かる。タルトや焼き菓子を中心に上質な材

料のみを使用し、最近では珍しくなった濃厚なバタークリームなど、一つ召し上がれば満足できるようなしつかりとした風味を丁寧につくり上げる。そんな同店のフランス菓子を求めて、横浜市内はもちろんのこと、都内遠方などから訪れる来店客も数多い。

また、同店のカフェスペースでは、おいしいお茶とお菓子を味わいながら、ゆっくりくつろいでいただける。さらに、このスペースを利用して、ほぼ毎月、「メーテルリンクデイナータイムコンサート」を開催。東京室内歌劇場などと提携してプロの音楽家による演奏やオペラのコンサートを行い、フランス文化の普及にも努めている。

「食の安全を第一に考え、フランスの伝統的な食文化をこれからも紹介していきたい」と優しく語る新倉社長。ぜひ同店で、フランス文化の薫りを楽しんでいただきたい。



プチガトウの並ぶショーケース